



R. I. 第2620地区 静岡第1グループ
三島西ロータリークラブ

週報

第2187号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市本町6-35 呉竹
TEL(055)975-3210
会長 原 久一 幹事 藤江 康儀



広重版画より 三島 朝霧

第2254回例会

2019.8.8晴

司 会

前田房江君

ロータリーソング

「我等の生業」
指揮 平出利之君

会長挨拶

副会長 千葉慎二君

先日、三島警察署の幹部職員の方々のお話を聞く機会に恵まれました。今回で三島署の勤務が3度目となった方が、『三島市民は道徳心が高いと感じている』と話してくれました。例えば遺失物・拾得物について言えば、拾った落し物は届ける、落とし主が見つかってもお礼を断る、と言うのです。この方を見立てに拠れば、三島は宿場町のDNAを持っているのでおもてなしの心が豊かであったり、三嶋大社の門前町なので信心が深い人が多いからなのではないかとのこと。だいたいお世辞が含まれているとは解っていても、たいそう嬉しいことです。

例えば私のような建設会社で言えば、建物の性能やデザインを評価して戴いたり、お困りごとを解決して感謝されたりと、品質やサービスをお褒め戴くのはどれも嬉しくありがたいことですが、会社や社員が、お行儀が良いねとか道徳心が高いねと褒められたら、これはもう格別の嬉しさだろうと思います。

『ロータリーの目的』の第2に、『職業上の高い倫理基準を保ち』『各自の職業を高潔なものとする』とあります。他の多くの奉仕団体とは異なり、『職業奉仕』をその理念の大きな柱と位置付けているロータリーならではの事です。ロータリーは、ロータリアンは道徳心が高いね、と言われるように努力して行きたいものです。

出席報告

	出席総数	出席率	会員総数
今回	37/43	86.05%	49名

欠席者 秋元君、宇田川君、橋本君、花房君、藤江君、古屋君

おめでとう

会員誕生日 芦川君、松本君
入会記念日 野田君、鈴木(正)君、
遠藤(真)君
奥様誕生日 栗原君

幹事報告

副幹事 三田明宏君

8月行事予定

- ①8日 夜間例会 会員増強維持 赤池克斗委員長
西川洋司君・桃瀬弘明君・秋山恭亮君入会式
- ②22日 例会場変更 米山記念館 セセラギ三島RCと合同清掃活動11:30集合 軍手等持参し清掃できる服装(例会は清掃終了後開会点鐘)

9月行事予定

- ①5日 夜間例会 ロータリーの友月間 クラブ広報委員長
木村安紀夫君
- ②26日の例会日、例会場 28日に変更 家族例会 富士ハーネス見学・ミルクランド(バーベキュー)
- ③3クラブ合同ポリオ撲滅チャリティーコンサート20名募集中(現在10名)

2019～2020年度
国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー

ロータリーは、世界をつなぐ

スマイルボックス

- ◆遠藤(武)君、令和になり十人目のひまごが生まれました。大家族になりました。子供は二人ですが、孫十人、ひまご十人とにぎやかです。ほけてるひまがないです。
- ◆窪田君、明日AM5:00、銀座3丁目のビル7Fにブピンガ(アブリカケヤキ4.9m×750mm×75)のカウンターを納品します。
- ◆和田君、ミヤオリからの皆様、多数ご来店ありがとうございます。お料理はいかがでしたでしょうか。当日は静岡でイベントがありまして出かけていました。ご挨拶せず申し訳ありません。
- ◆和田君、テーブル会ありがとうございます。
- ◆野田君、去る8月5日、「UMホールディング」という新法人を設立しました。私が目下社長である岳伸精工(株)はグループ傘下の企業となる予定。メリット、デメリットあるでしょうが、メリットが上回るよう願掛けて、拝スマイル!
- ◆野田君、窪田さん、先日はありがとうございました。いつも助かってます。
- ◆森崎君、暑中お見舞い申し上げます。

入会おめでとう



左から原会長、西川君、秋山君、桃瀬君

西川 洋司君

生年月日 昭和36年7月18日
事業所 株式会社ワールド計画
役 職 代表取締役

桃瀬 弘明君

生年月日 昭和42年10月18日
事業所 スルガ銀行三島セントラル支店
役 職 支店長

秋山 恭亮君

生年月日 昭和52年1月26日
事業所 三島東海理機
役 職 代表

卓 話

会員増強月間

会員増強・維持委員長 赤池克斗君

8月4日にグランドホテル浜松で開催された地区会員増強・維持セミナーに原会長と出席をまいりました。

本年度は安間ガバナリーより、若い会員・女性会員を重点として会員増強を図っていく旨のお話がありました。セミナーは全体を通じて、“不易流行”という言葉が印象に残るセミナーでした。つまり、いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものを取り入れていくこと、ということです。

分科会ごとのディスカッションもあり、他クラブの取り組みも聞くことができました。前提として、三島西ロータリークラブは現在、会員数49名で、平均年齢66歳、平均在籍年数は16年です。同じ分科会の中でも三島市内の3クラブは総じて様々な取り組みを行っているように感じました。具体的な例をあげますと、学校へ会員が出向いて行う事業や、テーブル会を無しにして委員会の懇親会に重点を置いたり、例会の席を毎回の抽選にしたり…

分科会で唯一会員数50名を越す伊東西クラブはロータリーの“高い敷居”というイメージから脱却し、若い会員の獲得ができていて、ということでした。反対に会員数の少ないクラブは敷居の高いイメージがあるようでした。一方で、若い会員が多くなりすぎると出席率の低下を生むというようなお話もありました。

地区の会員増強維持委員長より、会員数の少ないクラブには4つの共通点があるというお話があり

- 1、ベテラン会員を活用していない
- 2、新会員へのフォローやロータリー教育(理解浸透)が不足している
- 3、その年度の会長・幹事がやる気がない
- 4、若手・女性を入れられない

会員一人一人がこの4つに該当がしないのか、常にロータリー活動を行う上で認識をもっていかなければなりません。個人的な感想として、今回行われた3時間以上に及ぶセミナーで私の隣に座っていた原会長がA4ノート数ページに渡り事細かく全てのことについてメモをとっている姿がとても印象に残っています。原会長の真摯な姿勢が今年度の増強・維持に繋がっていくものと確信しています。

そして何よりも昨年度は入会が244名にも関わらず、退会が287名いたことは増強だけでなく必ずしも維持が必要なことを示しているのだと思います。セミナーの中ではロータリーが有益な勉強のできる団体だということもロータリー教育の中でさらにアピールしなくてはいけない点だということを知りました。常に時代の要請に応えるためにも、会員の維持という観点からも、若手の会員増強という観点からも、質の高い情報を学べるクラブにしていけることが肝要なことだと思います。いずれにしても、常に積極的に会員増強の啓発に努めていくことが活発なクラブを実現させるためには必要だということです。本年度の地区目標は3050名です。会員皆様全員での増強・維持を伏してお願いを申し上げ、会員増強月間と、セミナーのご報告とさせていただきます。

(週報担当:相山 豊)